

誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり



第81号  
2023.10.1

# ちくぜん

## 社会福祉協議会だより

赤い羽根応援大使

福岡ソフトバンクホークス

笠谷 俊介 選手

赤い羽根応援大使

福岡ソフトバンクホークス

リチャード 選手



募金協力バッジ  
©SoftBank HAWKS

### 赤い羽根 心がつながる 支えあい

### ・・・赤い羽根共同募金

令和5年度赤い羽根キャッチフレーズ最優秀作 糸島市立志摩中学校3年 近藤 咲希 さん

関連記事 2～3P



赤い羽根共同募金	2～3P	連載 福祉教育のススメ	7P
募集・災害義援金	4～5P	支え合いだより	8P
報告	6P		

発行編集 / 社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

メールアドレス [chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp](mailto:chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>  
〒838-0215 朝倉郡筑前町篠隈373 コスモスプラザ福祉館内 ☎0946-42-4555 FAX0946-42-5941

特集

～自分の町を良くするしくみ～(運動期間 10月1日～12月31日まで)



# 赤い羽根共同募金が今年も始まります

昭和22年から全国一斉に始まった赤い羽根共同募金運動は、今年で77回目を迎えます。毎年多くのみなさまにご協力いただき感謝申し上げます。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、少しずつ元の日常に戻りつつありますが、感染予防に十分に配慮して推進していきます。今年もみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

## 筑前町での募金方法

### ①戸別募金

各区長さんにご協力をいただき、全世帯に募金をお願いしています。

### ②企業・個人募金

新型コロナウイルス感染予防のため、社協職員で訪問活動を行っていましたが、今年度は5類感染症に移行したことから、民生委員・児童委員さん、区長さんのご協力をいただき、事業所などに訪問し募金をお願いします。また、個人募金は社会福祉協議会の窓口で受付しています。

### ③街頭募金

町内3店舗にご協力いただき、お店の敷地内で赤い羽根共同募金のPRと募金活動を行います。

- 日時：10月2日(月) 16:45～17:30頃迄
- 場所：Aコープ三輪店・Aコープ夜須店・アスタラビスタ大刀洗店



### ④資材募金

役場、福祉施設の職員さん、町内小中学校の先生、福祉団体の会員さんにご協力をお願いしています。個人にも社会福祉協議会窓口で受付しています。



QUOカード  
1,000円  
(利用額500円)



図書カード  
1,000円  
(利用額500円)



2023年度オリジナル  
募金バッチ 500円

赤い羽根  
ボールペン  
500円



### ⑤学校募金

町内の小中学校へポスター掲示、募金箱等でご協力をお願いしています。

### ⑥募金箱募金

運動期間の10月1日から12月27日までコスモスプラザの福祉館、めくばーるのめくばり館に募金箱を設置しています。

### ⑦自動販売機募金

飲み物を購入すると、その売上の一部が飲料メーカー等から赤い羽根共同募金に寄付されます。(栗田区と下高場区に各1台設置しています。)

# どうして「赤い羽根共同募金」をするの？

自分の住んでいる町を良くするための募金です。誰もが住みなれた地域で、安心して暮らすことができるように、みんなで少しずつ助け合う取り組みが、「赤い羽根共同募金」です。



## ご協力いただいた募金について

昨年お寄せいただいた募金額7,105,162円から筑前町社会福祉協議会に6,710,200円が配分され、令和5年度の様々な福祉活動に活かされています。



お寄せいただいた募金を配分

### 福岡県共同募金会

約2割

#### 県内の地域福祉推進のため

##### ① 福岡県を良くするために

- ・ 県域を対象とした民間社会福祉 (特別養護老人ホームや障害者支援施設などに配分)
- ・ 県を単位として設置された福祉団体 (福岡県老人クラブ連合会や福岡県身体障害者福祉協会などに配分)

##### ② 災害時のボランティア活動支援のため

- ・ 災害等準備金として積立

##### ③ 共同募金運動推進のために

- ・ 本事業を進めるための事務費

約8割

#### 筑前町社会福祉協議会

##### 自分の町を良くするために

- ・ 幅広い年齢の方を対象とした筑前町福祉事業へ活用



### 災害等準備金とは

都道府県共同募金会では、被災地での災害ボランティア活動を支援するため、毎年共同募金の3% (以内) を「災害等準備金」として積み立てています。共同募金は都道府県の区域を単位に行われる運動ですが、大規模災害の発生時には都道府県域を超えて全国の共同募金会が災害等準備金を拠出しあい、災害ボランティアセンターの設置・運営等への助成を行う等、被災地を支援しています。

詳しくは、同月配布の「赤い羽根共同募金」チラシの裏面、もしくは「赤い羽根データベース『はねっと』 (<https://hanett.akaihane.or.jp>)」をご覧ください。

### 共同募金への寄付には税制上の優遇措置があります

「赤い羽根共同募金」への寄付は、公益性・緊急性が高い寄付金として財務大臣が指定する「指定寄付金」とされます。

- 個人のご寄付・・・所得税の所得控除または税額控除、住民税の税額控除
- 法人のご寄付・・・法人税の「全額損金」算入



報告

白寿、米寿おめでとうです。  
敬老の日記念品贈呈

筑前町在住で今年度、白寿（99歳23人）・米寿（88歳143人）を迎えられた方に、お祝いを贈呈しました。これからも益々ご壮健にお過ごしください。  
まだ申込がお済でない方は、令和6年1月31日（水）まで受付していますので、社協までお問い合わせください。

「金婚のお祝い」について

令和5年度に、金婚を迎えられるご夫婦をお祝いし、記念品をお贈りいたします。

対象は、昭和48年4月1日から昭和49年3月31日の間に結婚された、町内在住のご夫婦です。該当されるご夫婦は、社会福祉協議会までお申し込みください。

■申込締切■令和5年10月20日（金）

募集

「ひとり暮らし高齢者のつどい」を  
開催します

コロナ禍により中止していた「ひとり暮らし高齢者のつどい」を3年ぶりに開催します。バスに乗って、海の景色を楽しみながら出かけませんか？

一緒に食事や買い物を楽しみましょう。

日程 11月7日（火）・11月13日（月）

※参加は、どちらか1日のみ  
お選びください。

時間 9時～15時

行き先 福岡県糸島市

対象者 町内在住の70歳以上で、

ひとり暮らしの方（昭和29年4月1日以前に生まれた人）

募集人員 1日40人（両日で80人）

※定員になり次第、締切。

参加費 1,500円

申込締切 10月27日（金）

電話 0946-421-4555

※申込者には、集合場所や時間などをハガキでご案内します。

※令和3年度と4年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため外出を自粛していましたが、今年度から外出を再開します。

募集

在宅介護者リフレッシュ事業  
「介護者のつどい」を開催します

障がい者（児）や高齢者を自宅で介護している家族（介護者）の心身のリフレッシュを図ることを目的に「介護者のつどい」を開催します。

日程 11月28日（火）・11月29日（水）

時間 10時～16時30分

行き先 田川郡添田町（英彦山散策）

対象者 障がい者（児）や高齢者を

自宅で介護している家族

募集人員 両日とも20人

（5人に満たない場合は開催しません）

参加費 1,000円

申込締切 11月17日（金）

電話 0946-421-4555

※この事業は「そったく基金」を活用しています。



# Let's learn here! / 野良猫と地域猫講座

令和5年**10.29** (日)  
9:30~11:30

会場：めくばーる学習館2階  
視聴覚室

講師：北筑後保健福祉環境事務所  
担当者



猫の特長・特性を知り、  
地域猫の活動を学びます。  
野良猫のことで悩んでいる人も、  
この機会に一緒に考えませんか。

参加  
無料

筑前町の人とネコが  
幸せに暮らすために考えよう。

お申込み・お問い合わせ  
筑前町しっぽお助け隊 (動物福祉ボランティア団体)  
TEL 0946-42-4555 (筑前町ボランティアセンター)

申込みQRコード↓

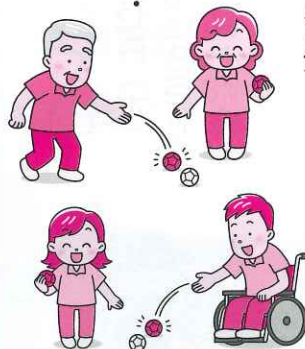


募集

## 障がい者のつどい ポツチャ体験・交流会

年齢、性別、障がいの有無に関わらずすべての人が楽しめるス  
ポーツであるポツチャを通して、さまざまな人と一緒に楽しい時  
間を過ごしませんか!?

日時 11月18日(土) 13時30時~15時30時  
場所 筑前町農業者トレーニングセンター  
対象者 筑前町在住の人  
参加費 50人 無料  
申込締切 11月10日(金)  
申込方法 筑前町社会福祉協議会窓口・  
電話・FAX  
FAX 0946-42-4555  
電話 0946-42-5941



## 福岡県共同募金会 筑前町支会からのお知らせ 豪雨災害義援金に ご協力ください

この度、福岡県令和5年7月豪雨によ  
り被災されたみなさまに心からお見舞い  
を申し上げます。

福岡県共同募金会筑前町支会では、被  
災された方々を支援することを目的に義  
援金を募集しています。ご協力をよろし  
くお願いいたします。

〈福岡県令和5年7月豪雨災害義援金〉

受付期間

7月18日(火)~令和6年3月27日(水)

送金先

福岡県共同募金会

義援金配分対象地区

福岡県内久留米市他

義援金の配分

ご協力いただいた義援金は、福岡県災  
害対策本部へ送金し、福岡県が設置す  
る義援金品配分委員会を通じて被災者  
へ配分されます。

※義援金はコスモスプラザ福祉館(社会福祉  
協議会窓口)にて受け付けています。

## ご寄付ありがとうございました。

(令和5年7月1日~  
令和5年8月31日)



香典寄付

16件

735,000円

物品寄付

匿名 防水シート・防水カバー・紙おむつ  
エコマルシェオニツカ機 卓上カレンダー

※皆様からいただきました心温かいご寄付は、筑前町の社会福祉のため、有効に活用させていただきます。

報告  
7月7日からの大雨に関する  
筑前町社会福祉協議会の動き

令和5年7月7日からの大雨により被害に遭われた方や関係者の方々へお見舞い申し上げます。

7月7日から10日にかけて断続的に強い雨が降り、10日には九州北部地方に線状降水帯が発生しました。福岡県内においても今回の大雨で甚大な被害に見舞われました。6市町村に被災者・被災地を主体とし、ボランティアの協力を得て、地域の復旧・復興につなげていくことを目的とした災害ボランティアセンターが設置されました。

筑前町社会福祉協議会は災害ボランティアセンターの運営支援として東峰村に7月13日(木)～8月12日(土)延べ46人、久留米市に8月11日(金)～8月16日(水)の5日間職員を派遣しました。

災害ボランティアとして活動していただいたボランティアのみなさん一人ひとりの力が被災者・被災地の復旧・復興につながっています。各災害ボランティアセンターにおいては多くの人に災害ボランティア活動に参加していただき、ありがとうございます。



東峰村、ボランティア活動の様子

報告  
筑前町ボランティア連絡協議会  
(「ボラ連」)活動報告

ボラ連は、8月26日(土)「町議との意見交換会」を、議員6人と、ボラ連会員26人で行いました。最初に、これまでの活動や、町内のボランティア活動を議員のみなさんへ紹介しました。

その後は、質問と要望の内容を協議しました。主な内容は、①ボランティア活動に対する思いや考え、②災害時の対応、③高齢者とペット、④環境、⑤防犯の問題など、各ボランティア団体・個人の活動や関心についてお互いの意見を述べ合いました。出席の議員から「毎年、意見交換会を実施し、町への提案や、より良いまちづくりを目指していきましよう」と前向きな意見をいただきました。

ボラ連は、これからも様々な課題を自分のこととして考え、ボランティア活動を通して、地域の福祉に貢献していきます。



小・中学校の福祉教育が始まりました!!

今年度も町内の小・中学校から、福祉教育の依頼があり、福祉教育サポーター（地域のボランティアさん）や福祉施設職員の協力を得て実施をしています。

6月からは、三輪小学校4年生が、福祉教育に取り組み、9月は車いすユーザーの林賢治さん（朝倉市在住）をゲストティーチャーに迎え、障がいのこと、生活・仕事・趣味のことなどを中心に話をしました。児童のみなさんは、「相手のことを理解する。気づく。そして、自分ができるところは何だろう。」と考えながら一生懸命に話を聴いていました。その後、実際に車いすに乗る体験と介助の体験をし、車いすに乗っている時の目線から気づきや、相手のことを思っ車いすを押すことの大切さを感じていたようです。

最初は緊張した表情の子どもたちも、林さんとの交流や車いす体験をする中で、たくさんの笑顔があり、とても和やかな雰囲気です。今後も様々な福祉体験やゲストティーチャーと交流しながら学習を進めていきます。



手話を知ろう！学ぼう！

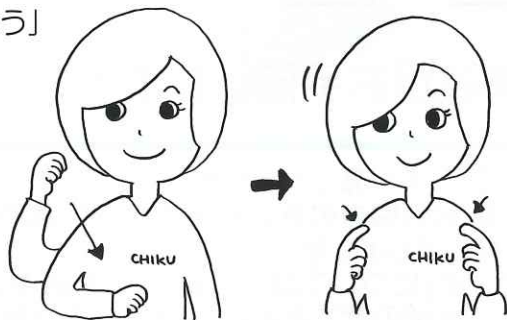
手話とは、手や指・顔の動きを使って表現する視覚言語です。音声言語・文字言語（日本語・英語・フランス語など）とは異なる文法や単語があり、独立した言語です。今回は、①「あいさつ」と②「おはよう」の手話を紹介します。

①「あいさつ」



① 手話での「あいさつ」は、両手の人さし指を向かい合わせて立て、向かい合った2人がお辞儀をするように両方の指先を曲げる動作が「あいさつ」の意味です。

②「おはよう」



② 片手をジャンケンのグーの形に握り、こぶしを、こめかみのあたりからアゴの方へ降ろすと「朝」「起床」の意味。頭をこぶし側に少し傾け、こぶしをアゴの方に降ろすのと同時に頭を真っ直ぐにすると、「起床」の意味が強調されます。先ほどの「あいさつ」の手話と組み合わせることで「おはよう」というあいさつです。

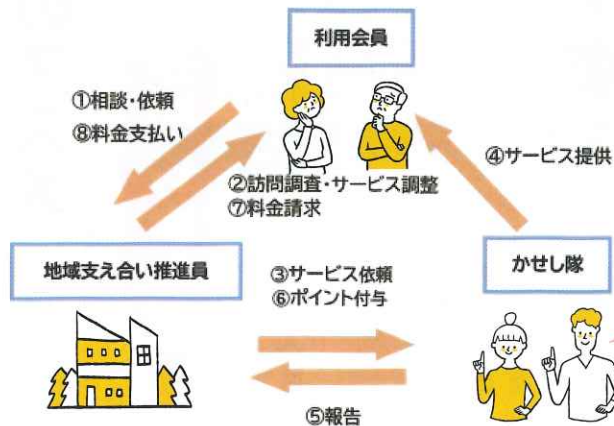


# 支え合いだより

Vol.2  
♡♡♡♡

## 住民参加型有償生活支援サービス事業

日常生活におけるちょっとした困りごとを、地域住民で結成された「かせし隊」がお手伝いします。お気軽にご相談ください。



### (かせし隊)

1サービスにつき1ポイント付与され、20ポイント貯まるとゴミ袋と交換します。

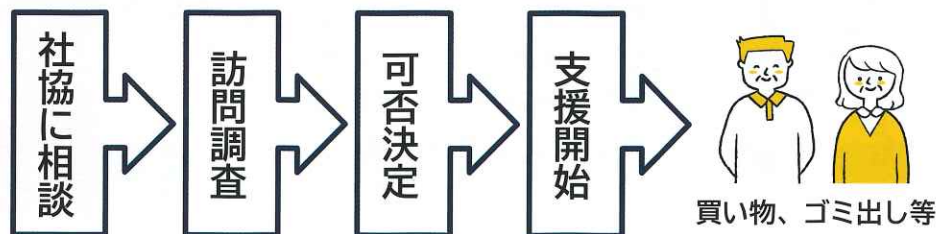
かせし隊は随時募集しています。興味のある方は社協まで連絡をお願いします。

0946-42-4555

※1サービス30分以内につき100円の有償サービスです。

### 利用の流れ

※支援が決定するまでに少しお時間をいただきます。



地域支え合い推進員がお手伝いします。

今年の夏は地域活動が再開された区が多く見られました。夏祭り、子ども会行事、敬老会等、区民の協力のもと開催され、「地域のつながり」を改めて感じる事ができたのではないのでしょうか。

先日、小学校の福祉教育で「地域の宝」について話をしました。その中で子どもたちに「たくさん地域の人とふれあって、地域の宝である『つながり』を一緒につくってほしい」と伝えました。

地域で安心して暮らしていくためには、周囲とつながることが大切になってきます。ぜひ今回の地域活動をきっかけに「地域のつながる場所」を作ってみませんか？

私たち地域支え合い推進員がお手伝いします。

興味のある方は社会福祉協議会までご連絡ください。

地域支え合い推進員 三嶋・石丸・甲斐



社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会  
<http://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>

〒838-0215  
福岡県朝倉郡筑前町篠隈373 コスモプラザ福祉館内  
TEL 0946-42-4555 FAX 0946-42-5941